



看護小規模多機能型居宅介護

ナースケアたんぽぽの家のご紹介

開設のきっかけは生い立ちにあり

- ・ 幼少時体験：南方から病弱で帰国した父の最期は、無医村・貧乏・雪深い岩手でした。15歳時、「将来は、看護婦になって僻地で看護を届ける仕事をしたい！」と夢を持ち看護の道を選択。そして35年間の病院勤務を卒業して52歳で起業。2000年3月1日に念願の訪問看護をスタートさせ、地域に必要と思われる居宅、訪問介護、有料老人ホーム、デイサービス、そして介護予防事業や精神障がい者の相談事業等の事業を展開しました。今考えても幸運なことに、ご利用者様とスタッフに恵まれて次々と新しいチャレンジができた。若くて向上心の高いスタッフ達は早めに自立をさせたいと考え、平成19年から支店を作り若い仲間に管理を委ね、独立の促し、平成26年から30年末まで、管理者7人に事業の90%である800名のご利用者様と60名のスタッフをそのままおゆづりして独立を応援しました。私が集大成として手掛けたいのはかんたきと訪問看護で、武蔵野市の当時の福祉部長の笹井さんに相談して市の応援の基で、今の地に事業を始め、お陰様で7年半を経過しました。

武蔵野に移転して始めた仕事

武蔵野市で始めた事業は4つ。開始とその後の変化

1、初代に名付けた名称で訪問看護ステーション100名のご利用者 <継続>

2、土地探しに翻弄して見つけた関前でかんだき・ナースケアたんぽぽの家

開始時：登録規模24名、通い12名、泊まり4名

変更2023年12月：登録規模28名、通い14名、泊まり名 <継続>

3、有料老人ホーム大沢の家

開始時：2床だったが、かんだき登録変更に伴い2023年12月に1床に変更 <1床で継続>

4、精神障がい者等の地域生活支援事業・・・三鷹市の独自の相談事業

三鷹市で始めた事業であり、三鷹市に返還する交渉をして2022年に廃止した <廃止>

ナースケアの家の施設概要

近隣の様子

ナースケアたんぽぽの家は、前はゴルフ場の高い網と畑があり、右側は井之頭通りを挟んで浄水場、左は民家と会社2か所あり。遮ぎるビルがないので、天空に輝く星空や満月は最高の風情です。白い建物で、2階部分には、寄贈して頂いた時計があり、朝な夕なに時を知らせてくれます。

建物

耐火構造 3階部分は鉄骨で外階段を利用します

1階部分：かんたきのデイ運営 ホール（食事とりハビリ・だんらん）

風呂場、大きなトイレ2つ、多目的室

2階部分：有料1床、ショートのベッドルーム5床（リビング、トイレ）

3階部分：本部と多摩たんぽぽ訪問看護ステーションの事務所 （1階から階段昇降）

ナースケアたんぽぽの家の初めの2年間

初めの2年間：かんたきは、中重度の方の在宅生活をトータル的にサポートする制度であり、およそ要介護4～5の状態にある人を対象でした。それ以前の約10年間は自宅で亡くなることが中々なく、社会的に話題になった事は、「最期は、どこで誰に看取られたいか」の問に、80%の人は自宅で家族に見守られて死にたいと答えつつ、現実的には、介護力や金銭面の大変さ・家庭では無理と考えられ、医療者側の判断も影響、そして地域で看取る医療体制は弱さがあり、先輩が「在宅で死ぬのはわがままですか」という本を出し、夢中で読んだ。同じ頃に、大沢で訪問看護を始めて数年して、「死ぬ前にどうしても家に帰り手入れをした庭の池を見たい！」という方を近くの往診医とたんぽぽのケアマネと看護で担当し、30分過ごし、思いが遂げられた方の思い出が記憶にまだ新しい。開設してまもなく、自宅で最期を看取りたいと3人の方が相談に見えた。連れて帰るというご家族に対して、「退院は危険で無理だ、許可しない！」と許可しないと問答を繰り返えされていた。「かんたきが出来るのを待っていた、たんぽぽはしてくれるんでしょう！！」と熱い期待が寄せられた。

3 人の方のお看取りの形

A氏 医師との話し合いに看護師2人で3回同行。院長はかなり激しく拒まれた。危険だと！。

往診医と訪問看護が担当することを告げて何とか了解され退院でき、医師に往診医に情報提供と指示書をお願いし自宅での見取りケアが始まり、介護の先輩であるその方のご家族が交代で介護され看護は一日2回訪問し家族と共に看護をして5日後にお看取りをした。

B氏 やはり病院では無理だ出せないと頑張る医師にご家族と共に病院へ同行して交渉をする。それでも許可が出されず親戚が強硬に依頼して半分は強引にたんぽぽに連れてこられた、その実態は、体中の突起した所は酷い褥瘡があり出血もあり臭気は漂い、胃瘻には点滴内容が流されており痛みがある中、ご家族の毎日の訪問で笑顔も見られた。往診医と協力して色々な処置の指示も協力して下さり胃瘻も継続し大分改善された1か月後にご家族の見守る中で他界された

C氏 同じく病院とのやり取りをして、退院の許可が出された。介護タクシーに乗る際に、酸素濃度は90がない状態であり、往診医に相談し酸素療法を引き継ぐことの約束をして看護師も同乗して自宅につく寸前で息を引き取った。待ち構えていたご家族は、お帰りお母さん！！と迎えた。

往診医が駆けつけて死亡診断書を書き、時間を置き、私達は家族と共に死後の処置をした。

その他の方のターミナルケア

地域のケアマネさんからのご依頼でも、重症でかつお看取りの依頼も見られ始めた。

地域で永く開業されていた著明な先生もその一人で、癌の末期は、こじんまりとした自宅に近い家で看取りをしてくれるところを探しておられ、病院を退院されて救急車でたんぽぽに見えた。

臀部の褥瘡は大きく深く、一日に2回洗浄し体交をまめに行い、胃瘻は希望されず中々回復には至らないまでも傷は小さく浅くなり、車椅子に乗りデイサービスの音楽療法に奥様付きで参加でいるまでになった。92歳の誕生会では奥様の奥様のバイオリン演奏を嬉しそうに見つめておられた。家に連れていきたいという奥様のご希望で3人体制で同行し、2時間過ごされた。

いよいよ最期の日、奥様はちぎれんばかりに指を絡めてひと時も離れず、側で看取らた。

それから3年後に、奥様はたんぽぽ以外、どこにもいかないといい、半年間をたんぽぽで過ごされ人生を全うされた。薬剤関係でご活躍された研究者であられた。

被爆を受けて苦勞が絶えなかったKさんの生き様

Kさんは広島で被爆され、会社も失いご主人の介護をされていたが、脳梗塞を発症され上京して長男夫婦のお世話になった。介護保険で色々なサービスが使われたが、歩けなくなり車椅子生活になった際、たんぽぽで有料老人ホームが出来るという噂で、第一号で入居された方となった。10年間で皆さん方の人気者でホームでの生活は笑顔が絶えなかった。9名の方の生活の場であるが、常に誰かの家族が見えてその度に、皆で料理を作りその指揮はKさんの役割。入所後2年目に脳梗塞の再発のために入院し、胃瘻をしてもたんぽぽに帰れるかという医師の問があり、胃瘻は問題ないが、車椅子2時間過ごせるようお願いしたおりしも、年に一度の温泉旅行に大家族で河口湖の温泉に行き、乾杯の際にトロミが強くビールが落ちてこない経験を次年度は飲めるまでに快復。その頃に始めた、年に一度のチャリティコンサートにも参加できた。武蔵野に移転しても最期の日迄過ごすことの依頼でかんたき利用も第一号。胃瘻交換に病院に行き、不幸にも処置中に突然の急死を迎えた。思い出にご家族から時計のご寄付を頂いた。13年間の間、果敢に生きられた。

ナースケアたんぽぽの家 5 年目から現在

かんたきの5年～7年目の現在

難病や癌の末期の方や認知症の重症化した方が多くなり、24名は常に満員が続き泊まりもいつも一杯。その頃、最初にお看取りした方の奥様が、「たんぽぽなら行く」という話があり、かんたきの定員を増やすことにして、有料老人ホーム1床を廃止して、かんたきの登録定員を24から28に増床。その方は酸素療法開始になり、色々な活動には参加できなかったが、自分の仕事や研究の話をする時はとても生き生きしておられました。たんぽぽに居らして半年後に心不全で他界されました。デイサービスの活動は、重症の方もおられつつ、全体でのリハと、個別リハ（生活リハ）を手掛け、食事療法と合わせ、総合的に健康増進に力を入れています。

往診医と相談しつつ、ご家族と調整して、病気の早期発見と早期治療、その方に必要なら受診同行も行っています。

現在は、平均年齢は86才で最高年齢95才、最小年齢は65才です。平均介護度は3・3です。

かんたきの一日のプログラム

- ① 朝8時50分 スタッフ会議、送迎、全体消毒、入浴準備、デイ準備、泊まりの方々の処置等
- ② 9時30分～10時15分 送迎車到着、ご家族からの伝達確認、バイタル、入浴、
- ③ 10時30分～11時50分 朝の会、体操、ストレッチ、入浴、
- ④ 12時 昼食 頂きますのご発声（発語障害の方） 昼休み
- ⑤ 13時 ～13時20分 ウォーキング15分 コグニサイズの実践
- ⑥ 13時30分～14時30分 午後のプログラム（書道、音楽ボランティア、卓球、おやつ作り、
- ⑦ 14時30分～15時 一言一日の活動の感想をはなす
- ⑧ 15時 ～15時30分 おやつ
- ⑨ 15時30分～16時30分 順番にお送り 絵本やお話しで待機、送迎 お泊りの方のお送り 掃除
- ⑩ 17時 ～17時30分 スタッフ会議 記録 明日の準備

かんたき運営に関する感想

スタッフ編

看護師：介護士

訪問看護や訪問介護では単位数や時間に限界があり、もう少し奥深いケアがしたいと感じていました。かんたきでは、通いと訪問（看護と介護）と泊まりが一体となり運営しているために状況に合わせて柔軟にサービスが提供でき、一貫性のあるケアができ質の高い看護が出来ることを実感しています。又、ケアマネや往診の先生ともスピーディに連携でき異常の早期発見ができていて重症化しなことも大きなメリットであると感じています。ご利用者のご家族様も含め、更に寄り添い人生の良き伴走者になれるように努力して参ります。

ケアマネ：介護サービスが一体的に行え、かつ多職種とのスピーディな連携により一早く必要なサービスを提供できることをご利用者様、ご家族様の在宅生活を支えていけることにやりがいを感じています。

かんたき運営上の課題

利用者にとっての課題

* 介護保険の負担割合で利用が制限される可能性がある

- ①働いている時は給料があり年金もプラスになるが、年金だけになると3割負担は困る
必要な治療やかんたき利用が3倍になると負担が大きくて利用制限にせざるを得ない
- ②かんたきも、食費の割引等が他の介護保険と同じく使えるようになると嬉しい

運営者側の課題

- ①人材確保に紹介料等の経費が高い
- ②かんたきの仕事の負担と経費を加算ではなく他と同じの料金表にして欲しい

かんたきを利用しての感想

ご利用者様

〇さん：お酒の性で転倒し脊損に。病院で手術をしてリハをした上でたんぽぽ利用になった。

自分では中々意欲が起きず悶々とする事が多く、たんぽぽを利用しても自分の人生を悔やむことが多かった。でも年末年始にショートを利用して、家庭料理のおいしさと何といても刺身が美味しかった！。そして初詣に行き、神社の階段を麻痺の手も使い、10段を本気でよじ登ったらできた。俺も本気で頑張ればできて楽しく過ごせることを感じたとぽつり。その後、習字や俳句に変化が見られた。そして、父の日のためにネクタイとワイシャツを着ての記念写真では、逢えなくなった家族を思い出した。心の葛藤はあるが、以前のように開き直り、斜に構えることはしなくなった。今度のコンサートでは自分の役割もあるようで断らずにチャレンジしてみよう！！っと。

Sさん：たんぽぽに来てまずすることは、新聞を読むので要求すること、そして広告を見て家族に買うをお願いするの。それから食事やおやつの時にいただきます」の発声をする事。言語障害があるからね。食事は好き嫌いなく食べると褒められるから嬉しくなるの。特に野菜ね。

かんたきを利用しての感想

ご家族編

Eさんの娘さん：ここに來たのは、高い有料に行ったんだけど、食事おいしくなくて食べずに本当に拒食症になり鬱的になって困ったのでたんぽぽにお世話になってまるで変って元気になったの。そして自分の持ちマンションで一人暮らしを始めた。でも家にいる時はヘルパーを使っても私を呼ぶ。一人暮らしは出来ても呼ばれるから私が休めない。今、そのために施設を探したが気乗りしてくれず困っている。でも一度施設に行ってもらおうわ。ダメな時はお願いしていいですか。

Hさんの息子さん：ここにお世話になって3年になる。その時もベットから落ちて、立ち上がれず緊急に探してたんぽぽにお世話になってすっかり元気になって安心して働いていわれる。だけど腰が痛いというので受診したら何と、背骨が9本圧迫骨折しているといわれた。よく食べて元気なんだけど骨はもろいんだね、たんぽぽがあるから助かった。90になるから仕方ないけどね。お金はまずまずあるから大丈夫です。今後は区分変更をしてもらい、相談に乗って下さい。

かんたきを利用して良かった点

アンケートから抜粋

- ①、家族は安心して仕事ができる。
- ②ショートを利用することで家庭は用事が出来、休息みできる
- ③、食事に満足して行くので嬉しい
- ④、救急体制や夜間の相談もできるので安心している
- ⑤、運動もしてくれて適当に疲れて夜も休めているようで安心
- ⑥、急な通院に対応できない時に対応してくれる

わたしたちが目指すもの

* 事業を継続できるように日々努力します

- 1) 地域に信頼される看護・介護のケアをご提供します
- 2) 健全経営を目指します。
- 3) 地域の方々と連携して信頼関係を大事にしていきます

具体的な課題

- ①日曜カフェを毎月第3日曜日に行い地域の方々と楽しく連携します
- ②たんぽぽ主催のコンサートや映画会や夏祭り等の行事を皆様にご協力を頂き実践します。
- ③研修会や勉強会へお誘いします
- ④関前コミセンのコミュニティ祭りに参加させていただきます
- ⑤こうした連携の輪を実習生（看護、医学生）に伝えていきます。
- ⑥地域連携会議等でご協力頂きご指導もお願いします。
- ⑦この地域でハラスメントや虐待等のない明るい街づくりに参画します。

**ナースケアたんぽぽの家
はお陰様で7年、
これからも元気なたんぽ
ぽを宜しくお願い致します。**



私達の想い

訪問看護

多摩たんぽぽ訪問看護ステーション

看護師の訪問で医療的ケア
こころのケアのご支援をしています

Tel:0422-38-9108

看護小規模多機能型居宅介護

ナースケアたんぽぽの家

通い、訪問、宿泊のトータル利用
医療的ケアが厚く、中重度の方も安心

Tel:0422-38-9107

高齢になっても、病気や障がいがあっても

「住み慣れた地域、わが家で最期まで過ごしたい!」の想いを大切に!

医療や介護のご相談をお受けしています

有限会社多摩たんぽぽ介護サービスセンター

Tel:0422-38-9105

<http://tamatanpopo.co.jp>



皆の笑顔は財産



ナースケアたんぽぽの家は、平均年齢86歳で女性パワーが優しくリードをし、男性は負けそうになるとジョークで笑いをかもし出します。今まで、あんなことこんなこと、沢山中のことを頑張ってこられた皆さんの味わいは、奥深くて、皆で助け合い、励まし合い、とってもいい感じ。ボランティアの方々は、色々なジャンルで、心を癒し心を豊かにして下さいます。きっと、この中で、良い人生をおくれそう。そんな予感がする仲間たちです。

今年も挑戦します。

コンサートも、映画会
もハイキングも、皆さん
と共に歩んで参ります。



*たんぽぽは日曜カフェをしています

毎月第3日曜日 12時～14時 たんぽぽにて 会費は1,000円です

カレーライスと音楽を楽しむ会に皆さんお気軽においで下さい。

*今年もチャリティコンサートを行います。

武蔵野公会堂にて 会費2,500円

10月25日午後1時～3時30分

- たんぽぽ利用者の歌の発表
- 訪問看護のパイオニア秋山正子さんのお話、
- 歌手・あさみちゆきさんのコンサート

ご清聴ありがとうございました。

これからも、ナースケアたんぽぽの家をどうぞ宜しくお願い致します。

スタッフ一同、心から感謝申し上げます。

2025年7月16日

ナースケアたんぽぽの家